



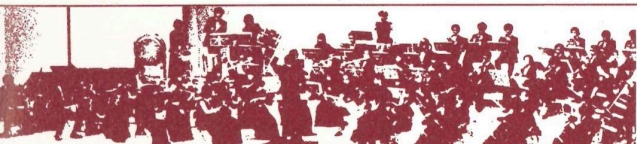
'87 オーケストラ・フェスティバル・イン・総社

'87



ORCHESTRA

FESTIVAL



INSOJA



日時 昭和62年3月29日(日) 午後2時開演 会場 総社市民会館

主催 岡山県・岡山県郷土文化財団・総社市
オーケストラ・フェスティバル実行委員会

後援 岡山県教育委員会・総社市文化振興財団



祝 辞

岡山県知事

長野 士 郎

第1回オーケストラ・フェスティバルの開催を心からお喜び申し上げます。

昨今「文化の時代」ということがよく言われます。複雑多様化した現代社会において、私たちはともすれば精神的なゆとりを失いがちですが、そうした中であって、すぐれた芸術に接し、美しい音楽を聴くことは、私たちの心に潤いとやすらぎを与えてくれるものであります。

まさに瀬戸大橋時代を迎えようとしております本県にとりまして、地域の活性化を一層促進することが必要であります。それとともに、新しい地域文化を創造していかなければならないと思うわけでございます。

このようなときに当たり、地域の音楽文化の担い手として幅広く活動を続けておられます三楽団のご出演により、オーケストラ・フェスティバルが開催されますことは、誠に時宜を得たものであり、大変喜ばしい限りであります。

どうか、本日ご来場の皆様方におかれましては、美しい響きを心ゆくまでご堪能いただきますとともに、クラシック音楽を愛する人々の輪がより大きく広がり、地域文化の高揚に貢献されますよう念願いたしまして、お祝いの言葉といたします。

ごあいさつ

このたび、岡山交響楽団、倉敷管弦楽団、それに津山市民オーケストラのご協力を得まして、第1回オーケストラ・フェスティバルを開催する運びとなりました。

きょうご出演いただきます三楽団は、日ごろから地域に根づいた演奏活動を精力的に続けておられ、輝かしい実績をそれぞれにお持ちであります。

複数の楽団が一堂に会して演奏することは、県内では初めてのことであろうと存じます。各楽団の持ち味を生かしたすばらしい演奏を十分ご堪能いただきますとともに、各楽団の皆様におかれましては、交流を深められ、演奏技術向上の場としていただけますなら幸いに存じます。

最後になりましたが、当フェスティバル開催に当たり、ご尽力いただきました関係者の皆様に厚くお礼を申し上げまして、ごあいさつといたします。

オーケストラ・フェスティバル実行委員会
委員長 信 朝 寛
(岡山県企画部長)

プログラム

津山市民オーケストラ

交響曲《美作地方民謡による》……山岸磨夫
楽劇「ニュールンベルクのマイスタージンガー」前奏曲……ワーグナー

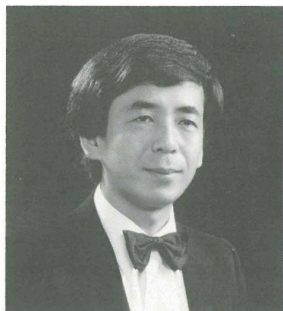
倉敷管弦楽団

交響曲第35番(ハフナー)……モーツァルト

岡山交響楽団

喜歌劇「こうもり」序曲……J・シュトラウス
バレエ組曲「くるみ割り人形」……チャイコフスキー

津山市民オーケストラ



指揮 川上 昇

5歳からヴァイオリンを竹内文子氏に師事。島根大学教育学部特設音楽課程卒業。その後磯良男氏にピアノを、山田一雄氏に指揮の指導を受ける。リサイタル、コンチェルトのソリスト、室内楽奏者として活躍する一方、広島交響楽団演奏会にも度々参加し、同団岡山公演ではピアノ首席を務めた。また、昭和45年から10年間、岡山市ジュニアオーケストラ指導員を務め、津山市民オーケストラ創設時から常任指揮者となる。現在、作陽音楽大学助教授。

曲目解説

交響曲《美作地方民謡による》

(山岸磨夫)

美作地方に古くから伝わる民謡を素材とする交響曲である。しかし、単に民謡の旋律をつなぎ合わせたものではなく、それらの特徴(精神的なもの、音楽素材)を生かし、かつ現代的な技法をとり入れ、しかも分かりやすい音楽をめざした作品である。曲は3つの楽章で構成され、それぞれ次のような特徴をもっている。

第一楽章——真庭郡八束村に伝わる「大宮踊り」の“蒼生、真禰宜”の旋律と、津山・一宮の「田植踊り」の旋律をテーマに用いたゆったりとした楽章。

第二楽章——久米郡柵原町に伝わる「吉井川舟唄」と、苫田郡加茂町に伝わる「子守唄」を素材とした、これもゆったりとした楽章。

第三楽章——「大宮踊り」の“叱々”の旋律をデフォルメした第1主題と、「吉井川舟唄」の一部をデフォルメした第2主題による一種のソナタ形式で作られている。速いテンポで奏され、交響曲の全体を締めくくる。

楽劇

「ニュールンベルクのマイスタージンガー」前奏曲

(ワーグナー)

中世ドイツのハンザ同盟都市であったニュールンベルクにおいて、一介の職人から親方になるには、職の技量だけでなく、歌の実力も重要視された。歌の道をマスターした人をマイスター(名人)と呼び、マイスタージンガーは、職人の親方であり、同時に歌の名人であるという意味を帯びていた。

この曲は、主人公である靴屋ハンス・ザックスを中心に、適当にロマンスを織りまぜながら、当時の人々の生き生きとした生活の様子をたくみに音楽劇にまとめあげた傑作である。

楽団紹介

昭和52年12月に発足しました。寒い夜でしたが、およそ45名ばかり参集したのを記憶しています。以来、今年10周年を迎えるまでに成長しました。

メンバーは、それぞれの事情等で入れ代わりましたが、小学生から熟年まで、会社員、主婦、学生、自営業者、教員など、年齢も職業も幅広い、県下でもユニークな楽団であるといささか自負しています。親子や夫婦でメンバーになっている人もいます。

メンバーの音楽に対する愛情と熱意には、素晴らしいものがあります。たとえば、冬になっても雪の中を森山から愛器をかかえて練習に参加するコンサート・マスターを筆頭にして、夕餉の支度もそこそこにつけける主婦など、多士済々です。常任指揮者は、文字どおり十年一日のごとく、我々の変なハーモニーに音もあげずにつき合ってくれています。

家庭的な雰囲気の中で、より技量を磨き、よりよい音楽の場作りに精進しようと考えていますので、今後ともよろしくお願いします。

代 表	黒 瀬 重 喜
音 楽 監 督	稲 田 嶺一郎
常 任 指 揮 者	川 上 昇
コ ン サ ー ト ・ マ ス タ ー	池 田 義
”	難 波 常 平
イ ン ス ペ ク タ ー	下 田 三 千 男
事 務 局 長	坂 手 一 男

楽団のあゆみ(主な演奏記録)

昭52.12. 8 楽団結成	昭60. 2.17 市民音楽祭
53.10.11 第1回定期演奏会	J・シュトラウス「皇帝円舞曲」ほか
シューベルト交響曲第8番「未完成」ほか (以後、毎年定期演奏会を開催)	60. 7.21 サマー・コンサート
56.12. 6 市民音楽祭	モーツァルト「フィガロの結婚」序曲ほか
J・シュトラウス「美しく青きドナウ」ほか	60.10. 2 第8回定期演奏会
58. 9. 4 ファミリーコンサート	メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲ホ短調」ほか
「津山民謡によるラブソディ」ほか	60.12. 7 第3回「第九」演奏会
58.12. 8 第6回定期演奏会兼	61.10. 2 第9回定期演奏会
第1回ベートーヴェン「第九」演奏会	61.12. 9 第4回「第九」演奏会

練習会 毎木曜日午後7時より 作陽高校視聴覚教室で
連絡先 (〒708)津山市小原281-2 坂手一男 TEL0868-22-7427



倉敷管弦楽団



指揮 菊池 東

昭和23年玉島に生まれ、5歳の時からヴァイオリンを始める。大学2年生の時、広島大学室内合奏団の指揮者となり、クラブ活動を続けるかわら広島交響楽団の団員として活躍。広島大学工学部卒業後、2年間東京都民交響楽団のサブコンサートマスター、モーツァルト室内管弦楽団のコンサートマスター、ムチカ合奏団のトレーナーを経て昭和48年帰国。昭和49年、仲間と共に倉敷室内管弦楽団(現・倉敷管弦楽団)を創設。以来同楽団の指揮者として活躍。このほか、ヴァイオリン奏者として、倉敷音楽協会、楽興の会などの主催する演奏会でソロ、アンサンブルの演奏活動を続けている。

曲目解説

交響曲 第35番(ハフナー)

(モーツァルト)

1776年7月22日に、モーツァルトは、自分の住んでいるザルツブルク(オーストリア)の市長であるジークムント・ハフナーの娘エリーゼの結婚祝いのために、この交響曲と同じ名前の「ハフナー」と呼ばれる美しい「セレナーデ」を作曲しました。

それから6年後に、ハフナー家の当主が爵位を受けたことから、モーツァルトの父は、ウィーンにいたモーツァルトに、祝賀曲を作曲するよう命じました。

当時、期限のある他の作曲の依頼も受けていたモーツァルトは、夜を日について、この曲を10日あまりで作曲しました。このことは、モーツァルトから父にあてた手紙からもうかがわれます。

作曲された当時は、イントロダクションの行進曲と、第2メヌエットをもつ6つの楽章からなりたっていましたが、ハフナー一家の祝賀会では、演奏されず、1783年3月23日、ウィーンで演奏するために、モーツァルトは、行進曲とメヌエットを外して、4楽章からなる一般の交響曲の形にしました。これが、この交響曲の初演でした。

既に、円熟した管弦楽技法の大家として世に認められていたモーツァルトは、この交響曲に、明るく、華麗な祝祭のムードを描きだしています。

第一楽章——雄渾な第1主題は、鋭くアクセントづけられたオクターブの跳躍と行進曲調のリズムの二要素からなっている。第2主題は現れず、様々な旋律を絡ませながら第1主題が変化に富んで展開していく。

第二楽章——ウィーン風の明るく優美な旋律。貴族の集う18世紀の大広間を彷彿とさせ、「アンダンテ」という語が「歩く」という動詞に基づくことをも思い起こさせる。

第三楽章——小規模ながらウィーン風の典雅な趣きのあふれた魅惑的なメヌエットである。

第四楽章—— Rond形式とソナタ形式が巧みに融合され、疾駆するように力強く演奏される。

楽団紹介

「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年設立の倉敷管弦楽団は、文化都市倉敷にふさわしい若さど熱気に満ちた楽団です。バロックから現代曲までの幅広い演奏活動で、昭和57年には岡山県文化功労賞、昭和60年には倉敷文化連盟賞を受賞し、将来を大きく期待されています。

定期演奏会では早川正昭氏、フォルカー・レニッケ氏、堤俊作氏、古谷誠一氏、湯浅卓雄氏、金洪才氏、佐渡裕氏ら各地で活躍中の方々を客演指揮者として招き、またフルートの世界的巨匠ジャン・ピエール・ランパル氏との共演を始め、ヴァイオリンの和波孝禧氏、前橋汀子氏、豊田弓乃氏、ピアノの深沢亮子氏、チェロの安田謙一郎氏、山崎伸子氏、オーボエのディーテルム・ヨナス氏、トランペットの津堅直弘氏、また岡山県内で活躍中の音楽家たちとの共演や、團伊玖磨氏作曲の「管弦楽のための高梁川」の初演、創立10周年記念の400名から成る第九演奏会、中国二期会とのモーツァルトのオペラ「魔笛」「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トゥッテ」の演奏等、それぞれ注目の的となる多彩な演奏活動を続けています。

団長	田 辺 幹 夫
常任指揮者	菊 池 東
コンサート・マスター	守 屋 美枝子
〃	佐 藤 真理子
運営委員長	陶 山 容 良
運営副委員長	坂 口 充 倫
運営委員	友 野 良 一
〃	光 延 勢 吾
〃	中 桐 佐知子

楽団のあゆみ(主な演奏記録)

昭49.12. 1	楽団結成	モーツァルト「魔笛」(以後1年おきに公演)
50.12. 8	第1回定期演奏会 パッサ「ブランデンブルグ協奏曲第4番」ほか	昭59.12. 2 第10回定期演奏会 創立10周年記念 ベートーヴェン「第九」
52. 9.24	ランパルと管弦楽の夕べ フルートのジャン・ピエール・ランパル氏と共演	60. 6. 1 第11回定期演奏会 ブラームス「交響曲第2番」ほか
55. 5.31	「管弦楽のための高梁川」初演発表会 團伊玖磨氏作曲、指揮	61. 6. 1 第12回定期演奏会 メンデルスゾーン「交響曲第3番」ほか
56.12.13	二期会中四国支部オペラ公演	61.12.14・25 ベートーヴェン「第九」演奏会

練習会 毎月曜日午後7時～9時30分 倉敷市民会館練習室で
連絡先 (〒713)倉敷市玉島阿賀崎1212 菊池 東 TEL08652-2-5145



岡山交響楽団



指揮 河田文忠

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。作曲を長谷川良夫氏に師事。現在、中国短期大学助教授。岡山交響楽団発足の時から指揮者(常任)を務めている。

曲目解説

喜歌劇「こうもり」序曲

(J・シュトラウス)

ヨハン・シュトラウス(1825~1899)は、父のヨハン・シュトラウスが“ワルツの父”と敬称されているのに対し“ワルツ王”と呼ばれ尊敬されている。彼の作品は約500曲といわれ、大部分がワルツであり、人生の歓喜、生きることの喜びが盛り込まれた名曲が多い。

喜歌劇「こうもり」は、ベネディクスの書いた「監獄」という喜劇に基づいた三幕物の小歌劇であり、1874年ウィーン市のアンディ・ウィーン劇場で初演された。

序曲は、アレグロ・ヴィバーチェ、イ長調2分の2拍子で、華々しく始まる。しばらくしてレント、4分の2拍子で朝6時の時報を知らせる鐘の音。曲は目まぐるしく変わり、ト長調の有名なワルツについて、オーボエの歌うロザリンダの歌の後、既出の音楽が再現した後、ピウ・ヴィボで華やかに終結する。

バレエ組曲「くるみ割り人形」

(チャイコフスキー)

チャイコフスキー(1840~1893)は、ロシア国民主義運動の時代の人であったが、ことさら民族的特殊性を強調しようとはせず、むしろドイツロマン派の流れをくみ、その中にロシア的なものを溶け込ませる作風が多かった。このため、彼の音楽は、世界性と永遠性とで各国の人に愛好されている。特に、現在のソ連では、音楽の神様のように尊敬されている。

組曲は15曲の中から選び出された8曲からなっていて、初めの2曲(小序曲と行進曲)のほかは、第二幕からとった数々のダンス曲である。終曲の花のワルツは、長大で豪華なワルツであり、スラブ的な粘りをもったもので傑作の一つにあげられている。序奏の18小節にわたるハーブのカデンツァはすばらしく美しい。

楽団紹介

岡山交響楽団は、1983年に発足し、今年4年目を迎えた若々しいオーケストラです。現在90名の団員を擁し、本拠地岡山での年2回の定期演奏会と、地方公演を含む年2回の特別演奏会を柱に、特色のある自主公演を行っています。

団の運営は、団規約ののち、月に何回か開かれる運営委員会で十分に討議され、自主的かつ民主的に運営される真の意味での市民オーケストラです。

団員は学生から主婦、一般社会人、音楽の専門家まで幅広く、多くの専門教育を受けてきた人達とアマチュア出身者がうまく溶け合って、素晴らしいアンサンブルをつくっているのが、岡山交響楽団の最大の特徴です。

明日からまた、5月17日(日)に予定されている第6回定期演奏会に向けて、猛練習を開始していくことでしょう。

団長	糸賀英憲
運営委員長	星島明郎
常任指揮者	河田文忠
コンサート・マスター	久山 恵
インスペクター	杉本賢志
監査	妹尾隆一郎
〃	中田正範

楽団のあゆみ(主な演奏記録)

昭58.10.3	楽団結成	昭60.10.5	ゴールドブレンドコンサート ドボルザーク「スラブ舞曲」ほか
58.10.24	結団式	60.11.23	岡山県郷土文化財団クラシックコンサート ビゼー「カルメン第1組曲、第2組曲」ほか
59.7.2	第1回演奏会 ドボルザーク交響曲第9番「新世界」よりほか	61.4.26	第4回演奏会 ガーシュイン「パリのアメリカ人」ほか
60.2.3	第2回演奏会 ベートーヴェン交響曲第5番「運命」ほか	61.7.27	コカ・コーラさわやかコンサート ハチャトゥリアン 組曲「ガイース」ほか
60.2.10	岡山県郷土文化財団クラシックコンサート シベリウス「フィンランディア」ほか	61.12.7	第5回演奏会 リムスキー コルサコフ 交響組曲 「シェラザード」ほか
60.7.21	第3回演奏会 ベートーヴェン交響曲第8番へ長調ほか		

練習会 毎月曜日午後6時45分～9時30分 太田洋行音楽ホールで
連絡先 (〒700)岡山市表町1丁目4-68 岡山県開発公社3F 太田洋行気付
岡山交響楽団事務局 TEL0862-24-7853



●出演者

津山市民オーケストラ

ヴァイオリン	緒方 妙子	クラリネット
安東 宏子	金関 久美子	井口 基暉
池田 義	黒瀬 弘通	江川 静
入江 洋文	下川 祐子	友次 三男
大井 孝子	杉下 かおり	ファゴット
大島 恵	杉山 みゆき	赤松 一樹
大谷 浩美	中川 行敏	高野 康雄
沖田 光子	中島 淳壯	ホルン
河合 賢治	野坂 光美	川端 広典
神田 恵子	チェロ	谷口 満智子
北山 三枝子	青山 一女	中島 日登美
久山 真子	川添 孝士	森 博文
倉内 領子	崎田 幸一	山口 潤
黒瀬 大亮	島本 勝秀	トランペット
黒瀬 重喜	下城 隆一郎	仲矢 昌史
小林 紀子	下田 三千男	藤田 浩一
坂手 和子	福島 順子	松本 年晴
下田 佳代	藤木 輝剛	トロンボーン
下大長 朋香	コントラバス	磯崎 浩一郎
須藤 京子	稲田 嶺一郎	清水 英之
鈴木 ゆかり	大浜 勝情公	チューバ
竹内 研一	黒岩 工	藤田 和良
竹内 民男	滝川 昭代	打楽器
友末 克彦	松本 佳 拡	片山 一男
友末 久美子	丸子 順一	坂手 保
難波 常平	渡辺 彰考	福島 京子
平田 千恵	フルート	光 吉
目瀬 蓉子	船本 雅子	
山口 裕未	古沢 かおる	
湯汲 エリカ	正木 公美子	
湯汲 稔代	オーボエ	
ヴィオラ	板谷 由紀子	
石原 小百合	小松 玲子	

倉敷管弦楽団

第1ヴァイオリン 田中光子
 鮑浦良和 田辺幹夫
 有田和恵 松江雄二
 井上浩子 光延勢吾
 岩瀬裕子 コントラバス
 越宗宣子 曾我部仁和
 佐藤真理子 難波由宏
 陶山容良 松本高広
 園田哲郎 本屋敷勝信
 中桐佐知子 安田友子
 吉信雅庸 吉田弘一
 第2ヴァイオリン フルート
 赤沢和美 片山知子
 岡崎良弘 坂口充倫
 河村真知子 オーボエ
 木村啓子 赤松由起子
 真田奈美 秋山慶子
 丸山博樹 クラリネット
 家守智子 川名あき
 芳沢真一 川名光治
 ヴィオラ ファゴット
 内田けい子 稲田裕彦
 奥山千鶴子 中川裕
 勝部喜代志 ホルン
 黒住彰夫 板谷信昭
 武本克巳 西崎大修
 友野良一 トランペット
 中野隆重 大塚千代和
 八木原周平 岡本卓也
 チェロ ティンパニ
 浅野千恵子 谷本江里
 井上良子
 黒田正典

岡山交響楽団

第1ヴァイオリン 渡辺雅恵 柏原美加
 チェロ 杉本賢志
 秋吉光恵 秋森裕司 立川浩二
 安藤律子 市川清 山辺輝道
 井上圭子 太田潤 トランペット
 大橋慶子 古城淑子 村上充
 久山恵 中田正範 吉田博史
 月原節子 平松玲子 トロンボーン
 寺田容子 福島達夫 磯田悟
 西泰子 宮本正 井上雅照
 平井節子 別所ルリ子 三輪釜 八田綾子
 宮田知加子 コントラバス チューバ
 山田由紀子 滝沢昇 佐倉衡平
 第2ヴァイオリン 長江昭彦 打楽器
 片山みずえ 藤井正勝 井上恭子
 片山ゆかり 藤野隆 森下佳子
 熊沢優子 船越環 ピアノ
 古谷野敬子 フルート 秋山福子
 里石恵美 安達雅彦
 妹尾隆一郎 熊瀬好
 中塚太刀男 国府澄江
 堀喜世子 星島明郎
 山本恒 オーボエ
 霊田京子 江尻敬子
 ヴィオラ 小林文章
 上杉善子 松谷拓郎
 浮田順子 クラリネット
 江島幹雄 熊沢利紀
 加藤忍 鈴木富美子
 金子剛 平島洋
 河島ミチ子 ホルン
 阪田ひろ子 岩田俊哉
 豊田英嗣 小田伸雄

